



決算補足説明資料 2020年3月期

2020年5月15日（金）証券コード 3537



昭栄薬品株式会社

www.shoei-yakuhin.co.jp

I	2020年3月期 決算概況	P1
II	各セグメント状況	P8
III	2021年3月期通期連結業績予想	P12
IV	株主還元方針	P18
(参考資料)		
※	会社の概要	P20



I .2020年3月期 決算概況

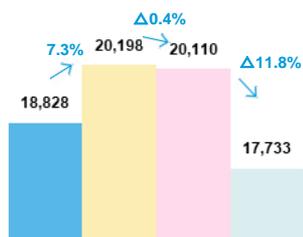
減収・減益

連 結	売上高	17,733百万円	(前期比 11.8%減)	↓
	営業利益	128百万円	(前期比 53.2%減)	↓
	経常利益	262百万円	(前期比 36.3%減)	↓
	親会社株主に帰属する 当期純利益	255百万円	(前期比 6.2%減)	↓

(主な要因)

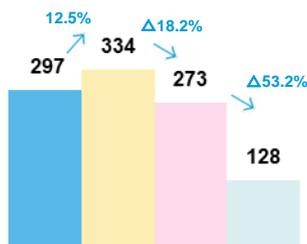
- ・ 米中貿易摩擦等による影響で、国内主要得意先からの受注減
- ・ 低水準で推移する一部原材料価格（天然油脂相場価格）の影響で、販売価格が低迷

売上高



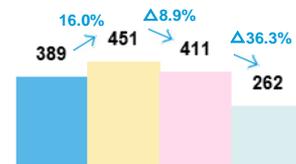
第57期 2017年3月期
第58期 2018年3月期
第59期 2019年3月期
第60期 2020年3月期

営業利益

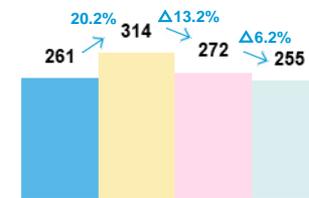


第57期 2017年3月期
第58期 2018年3月期
第59期 2019年3月期
第60期 2020年3月期

経常利益



第57期 2017年3月期
第58期 2018年3月期
第59期 2019年3月期
第60期 2020年3月期

親会社株主に帰属する
当期純利益

第57期 2017年3月期
第58期 2018年3月期
第59期 2019年3月期
第60期 2020年3月期

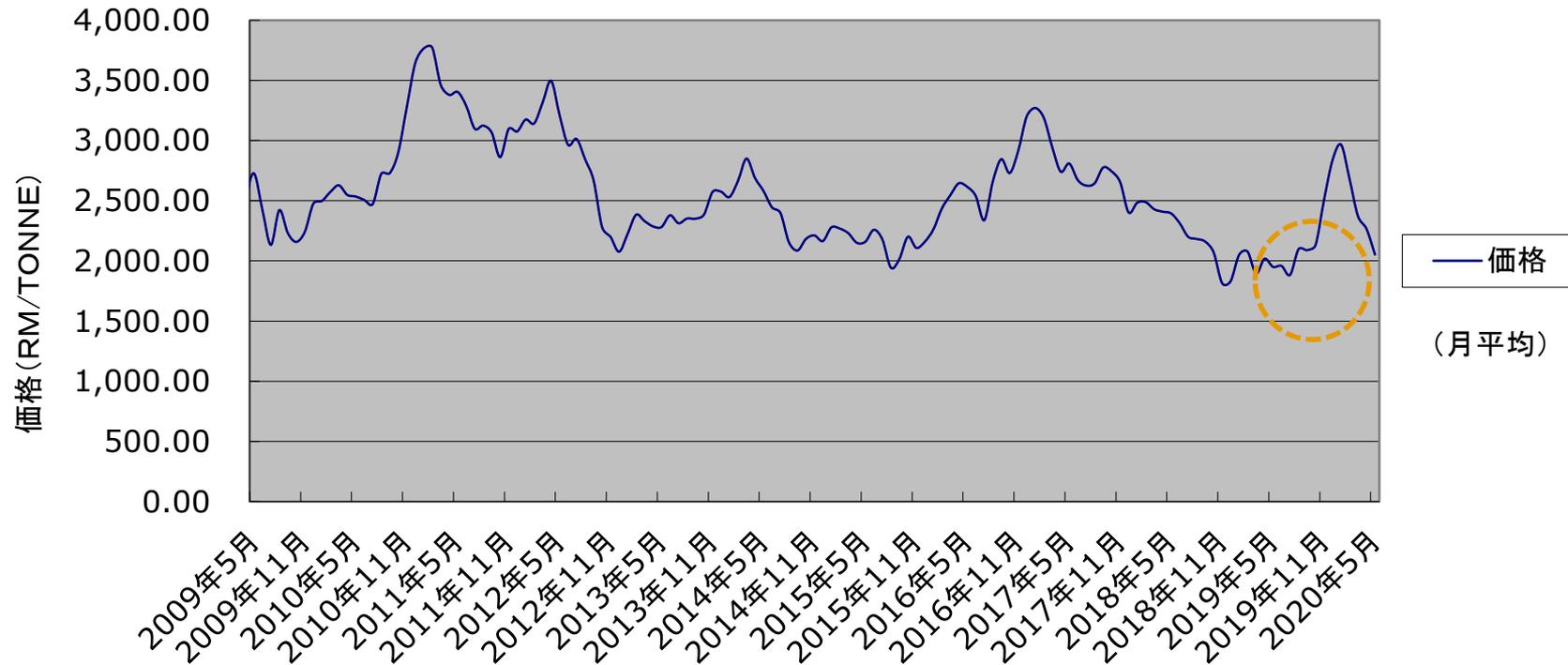
単位:百万円

	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	前年比		主な変動要因	2020年3月期 修正計画 (2020/11/5)	計画比 進捗率
			増減額	増減率			
			売上高	20,110			
売上総利益	1,627	1,508	△119	△7.3%	売上高の減少	1,502	100.4%
販管費	1,353	1,380	26	2.0%	人件費の増加 システム投資の増加	1,382	99.8%
営業利益	273	128	△145	△53.2%	売上総利益の減少	120	106.7%
経常利益	411	262	△149	△36.3%	営業利益の減少 為替差損計上 (前年同期は差益)	256	102.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	272	255	△17	△6.2%	経常利益の減少 投資有価証券売却益計上	232	110.1%

Point

- ◆ 前年と比べ、売上、利益とも大幅減
ただ、親会社株主に帰属する当期純利益は、投資有価証券売却益計上により、マイナス幅を減らす
- ◆ 計画比は、売上未達となるが、利益については計画達成

Malaysia Prices of Crude Palm Oil



(単位:RM)

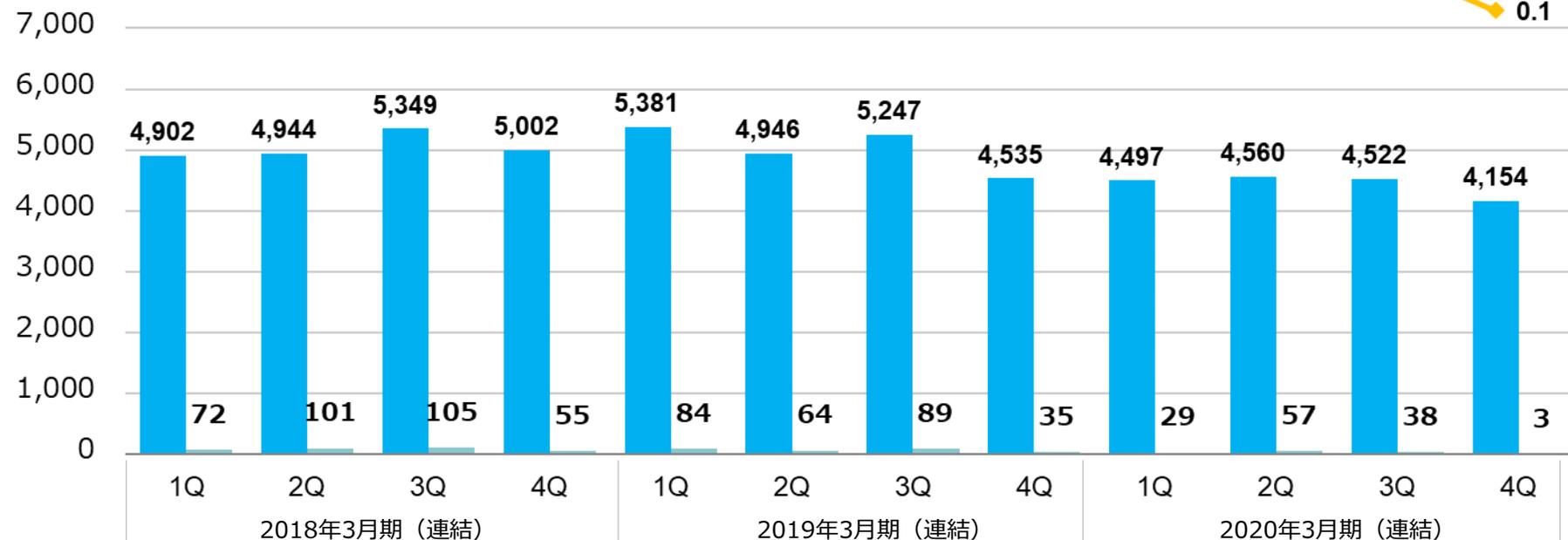
月	2019年4月	2019年5月	2019年6月	2019年7月	2019年8月	2019年9月	2019年10月	2019年11月	2019年12月	2020年1月	2020年2月	2020年3月
月平均価格	2,018.00	1,950.07	1,957.97	1,883.10	2,096.52	2,131.11	2,505.10	2,836.50	2,018.00	2,966.55	2,682.28	2,371.16

【出典: Mllaysia Palm Oil Bord(当該ページURL: <http://www.mpob.gov.my>) のデータをもとに当社にて加工して作成】

連結売上高・営業利益・営業利益率

■ 連結売上高 ■ 営業利益 ▲ 営業利益率

(単位:百万円)



I.(5)要約連結貸借対照表

(単位：百万円,%)

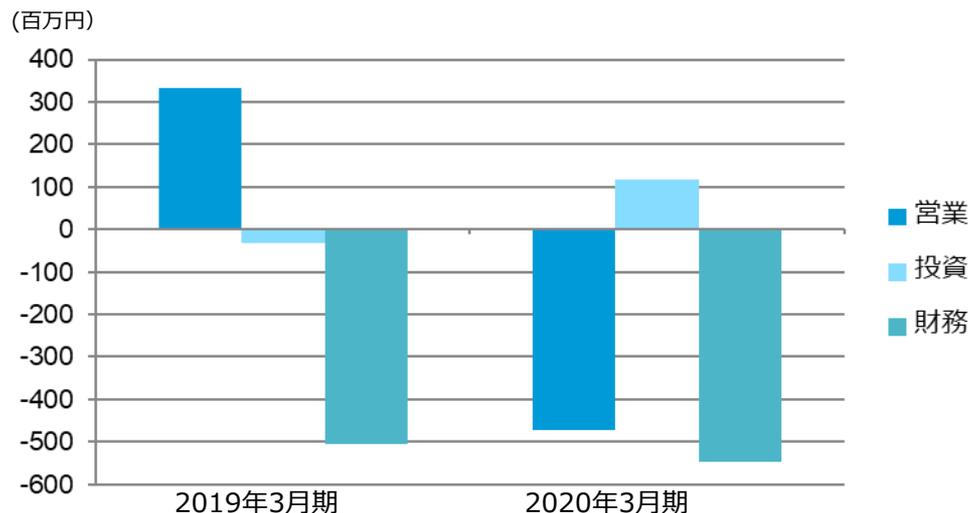
区分	科目	2019年3月期		2020年3月期		前期比増減額
			構成比		構成比	
資産の部	流動資産	8,782	52.2	7,132	47.6	△1,649
	現金及び預金	1,868	11.1	986	6.6	△881
	受取手形及び売掛金	6,423	38.2	5,573	37.2	△849
	その他	490	2.9	572	3.8	+82
	固定資産	8,049	47.8	7,866	52.4	△182
	有形固定資産	193	1.2	207	1.3	+13
	無形固定資産	23	0.1	16	0.1	△6
投資その他資産	7,831	46.5	7,642	51.0	△188	
資産合計	16,831	100.0	14,999	100.0	△1,831	
負債の部	流動負債	6,284	37.3	4,735	31.6	△1,548
	支払手形及び買掛金	5,284	31.4	3,842	25.6	△1,441
	短期借入金	332	2.0	413	2.8	+80
	1年内返済予定の長期借入金	450	2.7	300	2.0	△150
	その他	217	1.2	180	1.2	△37
	固定負債	2,466	14.7	2,128	14.2	△338
	長期借入金	300	1.8	-	-	△300
その他	2,166	12.9	2,128	14.2	△38	
負債合計	8,750	52.0	6,864	45.8	△1,886	
純資産合計	8,080	48.0	8,135	54.2	+54	
負債純資産合計	16,831	100.0	14,999	100.0	△1,831	

投資有価証券の一部売却及び時価変動

4.5億円を返済し、
長期借入金より3億円振替

1年内返済予定長期借入金に3億円振替

自己株式取得1.1億円の一方、
利益剰余金1.9億円増加



営業キャッシュ・フロー $\Delta 472$ 百万円

主な要因

- ・ 仕入債務の減少 ($\Delta 1,464$ 百万円)
- ・ 法人税等の支払額 ($\Delta 137$ 百万円)
- ・ 売上債権の減少 ($+847$ 百万円)
- ・ 税金等調整前当期純利益 ($+364$ 百万円)

投資キャッシュ・フロー **116**百万円

主な要因

- ・ 投資有価証券売却による収入 ($+170$ 百万円)
- ・ 有形固定資産取得による支出 ($\Delta 30$ 百万円)

財務キャッシュ・フロー $\Delta 547$ 百万円

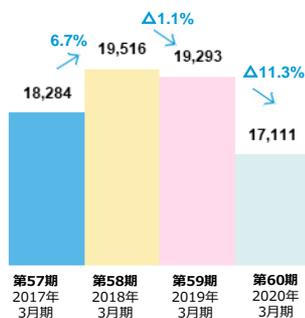
主な要因

- ・ 長期借入金の返済による支出 ($\Delta 450$ 百万円)
- ・ 自己株式の取得による支出 ($\Delta 114$ 百万円)
- ・ 短期借入金の純増額 ($+81$ 百万円)

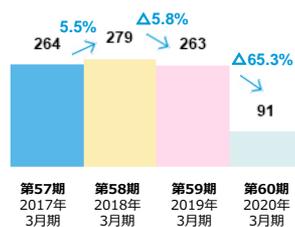
(単位：百万円)	2019年3月期	2020年3月期	増減額
営業キャッシュ・フロー	331	$\Delta 472$	$\Delta 804$
投資キャッシュ・フロー	$\Delta 33$	116	+149
財務キャッシュ・フロー	$\Delta 505$	$\Delta 547$	$\Delta 42$
現金・現金同等物 期末残高	1,629	732	$\Delta 896$

売上高	17,111 百万円	(前期比 11.3%減)	
営業利益	91 百万円	(前期比 65.3%減)	
経常利益	262 百万円	(前期比 39.3%減)	
当期純利益	260 百万円	(前期比 13.9%減)	

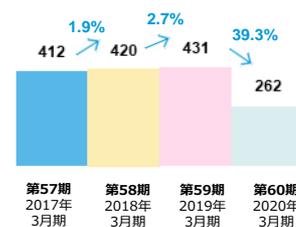
売上高



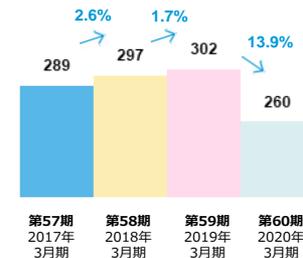
営業利益



経常利益



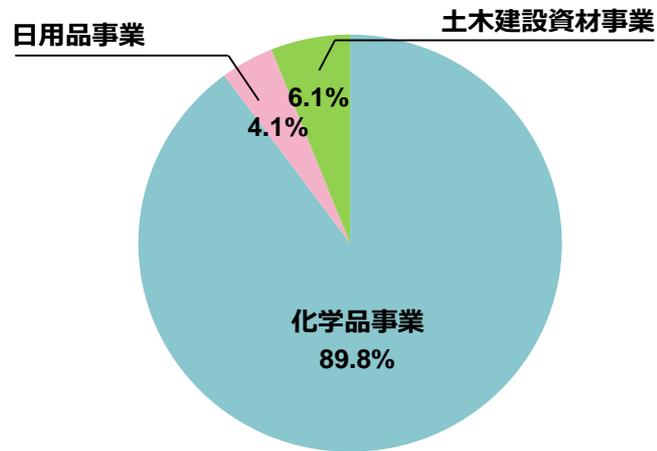
当期純利益



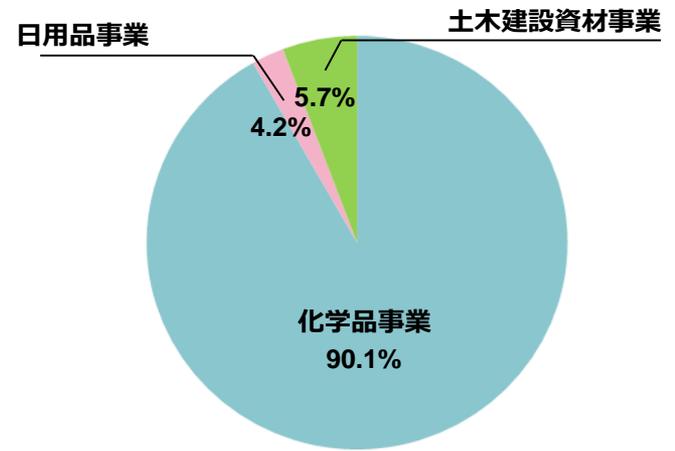


Ⅱ.各セグメント状況

2019年3月期 売上高構成比



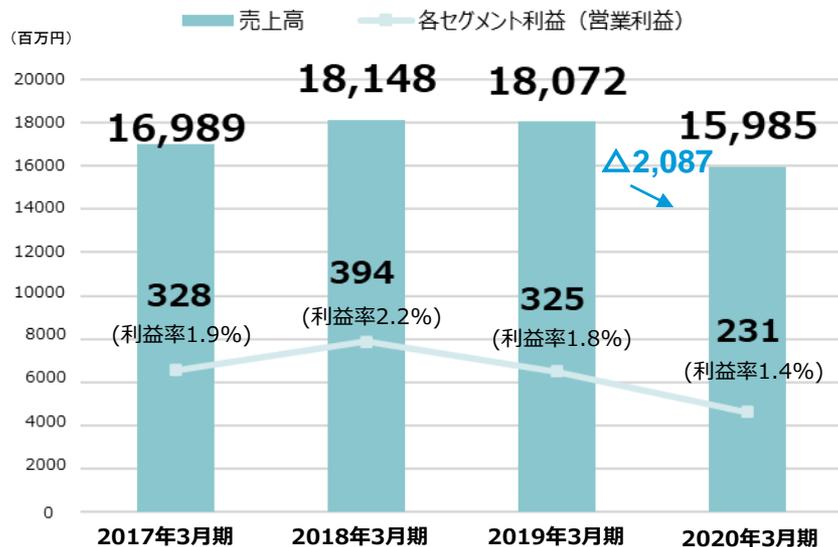
2020年3月期 売上高構成比



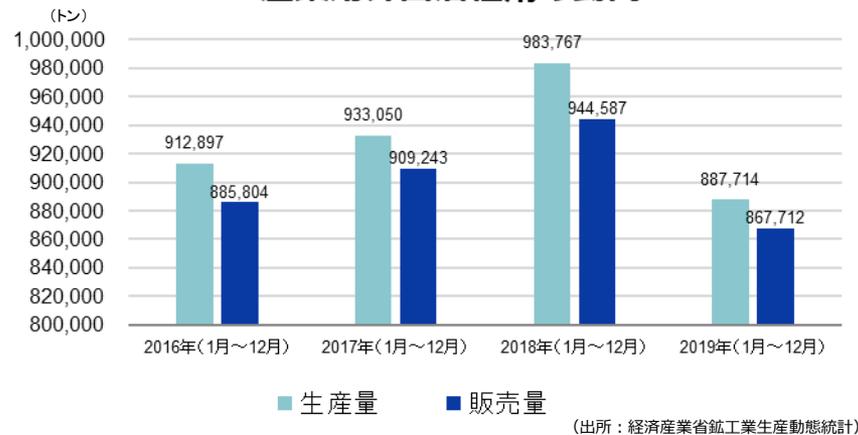
科目名	実績 (百万円)
化学品事業	18,072
日用品事業	819
土木建設資材事業	1,218
セグメント合計	20,110

科目名	実績 (百万円)
化学品事業	15,985
日用品事業	744
土木建設資材事業	1,004
セグメント合計	17,733

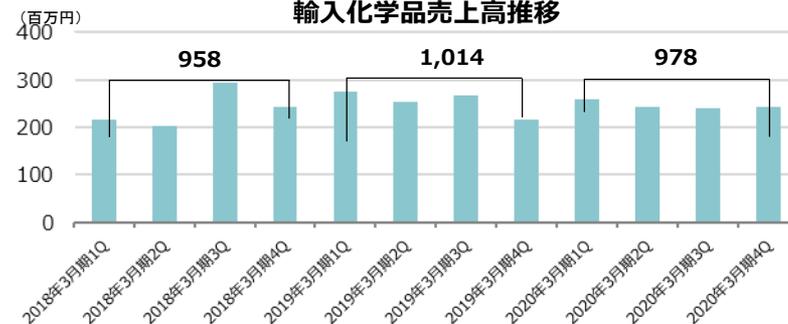
化学品事業



産業用界面活性剤の動向



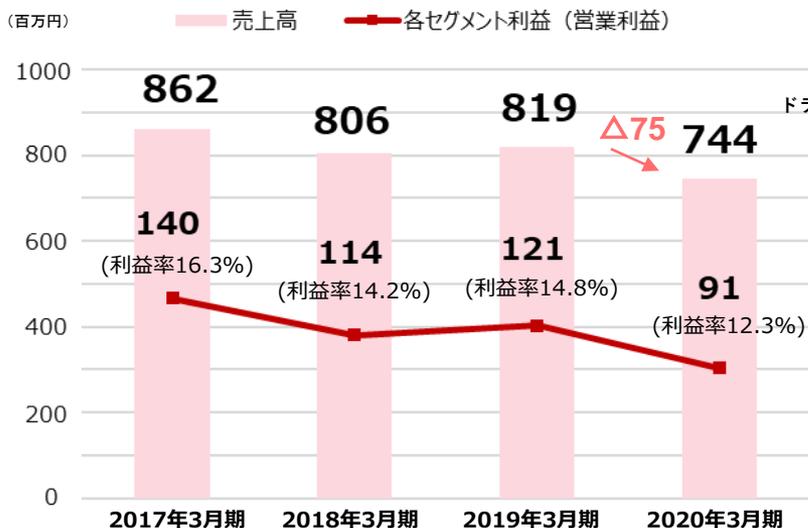
輸入化学品売上高推移



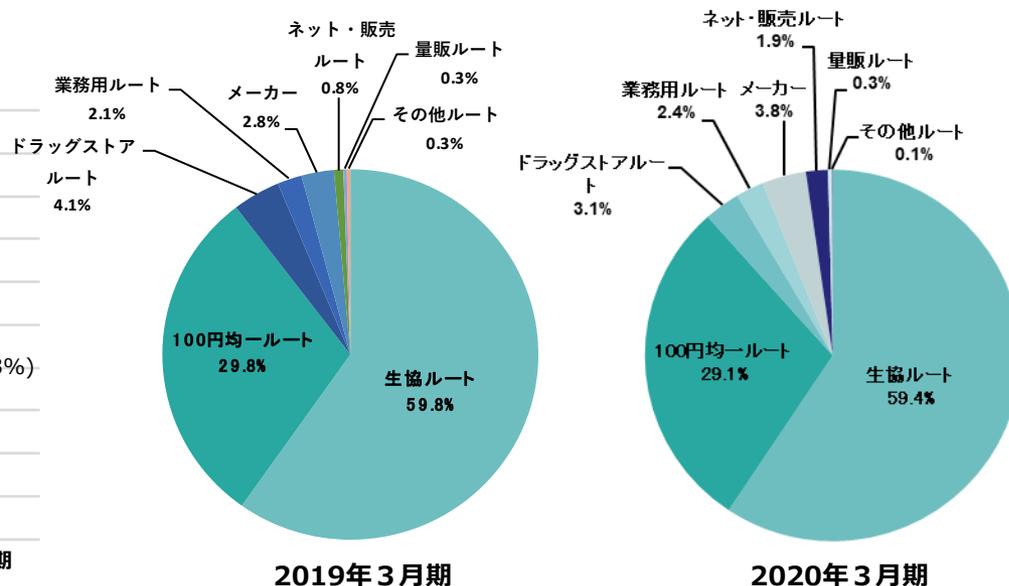
Point

- ◆ 界面活性剤業界も低調
- ◆ 米中貿易摩擦等の影響で、国内主要得意先の生産・販売活動は低調
- ◆ 低水準で推移する一部原材料価格（天然油脂相場価格）の影響を受け、販売価格は低迷

日用品事業



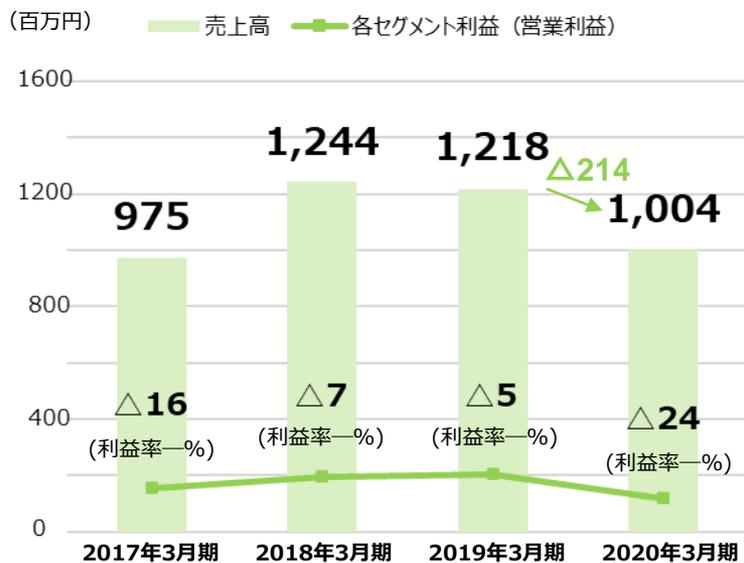
売上構成比



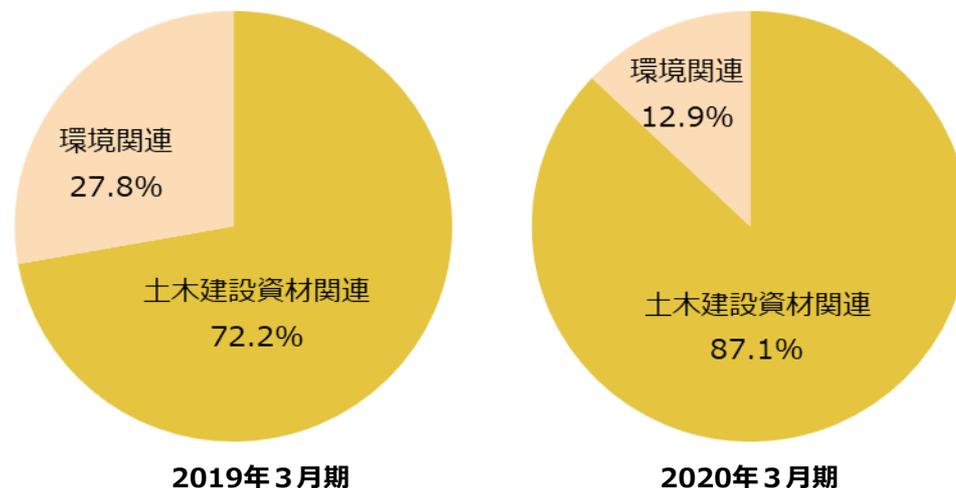
Point

- ◆ 一部商品（新アイテム商品や除菌関連商品）の特需がある一方、台風などの自然災害や消費増税等の影響で、全体の売れ行きは低調
- ◆ 自社オリジナル商品のインターネット販売は、引き続き、好調

土木建設資材事業



売上構成比



Point

- ◆ 土木グラウト工事で復調の兆しがみられるものの、依然低迷
- ◆ 環境関連については、前年比較的大規模の大きい環境改善工事が落ち着き、低調



Ⅲ.2021年3月期通期連結業績予想

新型コロナウイルス対応について

当社では、2020年3月4日から部署単位での時差出勤及び在宅勤務を行なっております。
また、緊急事態宣言が発令されて以降、
さらなる上記対応の強化並びに一部部署での時短勤務も行っております。

〈昭栄祥〉/中国(上海)

- ・1月24日～4月末まで、在宅勤務
- ・5月6日より通常業務

〈STT〉/タイ(バンコク) 3月26日の非常事態宣言

- ・3月27日より、在宅勤務
- ・5月末まで、在宅勤務継続

新型コロナウイルスの影響について

- ①**化学品事業**..... 一部、除菌関連(消毒液やハンドソープ等)の原材料で数量の増加はあるが、国内外からの原材料調達での納期遅延や景気減速による受注の減少、在庫調整による商品の前倒しや後ろ倒し等が考えられ、不透明。
- ②**日用品事業**..... 一部、除菌関連商品や洗濯槽クリーナー、眼鏡拭き等の特需があるが、反面、減少する商品もあり、プラスマイナスゼロを見込む。
- ③**土木建設資材事業**... 現時点では、あまり影響を受けず。
ただ、今後については、公共工事等、景気の影響を受け、不透明。

〈昭栄祥〉/中国(上海)

- ・2月、3月は、低調
- ・4月以降、ほぼ通常。先行きは不透明。

〈STT〉/タイ(バンコク)

- ・3月は影響なし
- ・4月、5月とも低調

増収・減益を見込む

(単位：百万円)	2020年3月期 (実績)		2021年3月期 (予想)		前期比	
		構成比		構成比	増減額	増減率
売上高	17,733	100.0%	18,103	100.0%	+369	+2.1%
化学品事業	15,985	90.1%	16,311	90.1%	+325	+2.0%
日用品事業	744	4.2%	751	4.1%	+7	+1.0%
土木建設資材事業	1,004	5.7%	1,040	5.8%	+36	+3.6%
売上総利益	1,508	8.5%	1,524	8.4%	+16	+1.1%
販管費	1,380	7.8%	1,403	7.8%	+23	+1.7%
営業利益	128	0.7%	121	0.7%	△6	△5.2%
経常利益	262	1.5%	262	1.4%	+0	+0.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	255	1.4%	178	1.0%	△77	△30.1%

(※新型コロナウイルス感染症の影響は織り込んでおりません)

Ⅲ.(2)2021年3月期の取組み、展開（セグメント別）

化学品事業

取組み、展開

- 海外商材の強化、拡販
- ゲルベアルコールを含めた高級アルコールの拡販
- 香粧品分野など、最終商品生産メーカーへ注力
- 海外子会社（中国、タイ）との連携強化による拡販
- 環境関連ビジネスの拡販→後述

事業環境見通し

- 界面活性剤業界（生産、販売活動）
……………低調を予想
- （懸念事項）
- 新型コロナウイルス感染症の動向
 - 世界景気や米中貿易摩擦の動向
 - 天然油脂相場価格、中国の環境規制の動向

日用品事業

取組み、展開

- 特許・実用新案を有した新規アイテム、商品の企画開発
- 既存顧客への拡販
- 販売ルート、ツールの拡充

事業環境見通し

- 景気減速懸念より
→個人消費は、依然、厳しく、低調推移を予想

 土木建設
資材事業

取組み、展開

- 既存顧客である施工会社、
メーカー、二次販売店への深掘り営業
- 新規商品の開発、拡販

事業環境見通し、テーマ

- 景気減速懸念より、先行きは不透明
- 駅前開発工事、建築物等外壁工事、
自然災害復興工事、インフラ施設等の老朽化対策
- 大阪万博、総合型リゾート（IR）関係、
リニア中央新幹線関連工事

【環境関連ビジネス】

お客様がかかえる課題に対応

【水処理ビジネス】



【脱臭ビジネス】



2019/12/27

JaSPON入会登録のお知らせ

当社は、2019年12月19日にJaSPONに正会員として入会申請しておりましたが、この度、2019年12月24日にJaSPONの正会員として入会登録が完了したことをお知らせいたします。今後もパーム油に関わる企業として、環境に配慮した社会活動の普及に努めて参りたいと考えております。

※JASPOON (Japan Sustainable Palm Oil Network) : 持続可能なパーム油ネットワーク

※ 広がるRSPOの認証油

パーム油は世界で一番消費されている植物油です。世界のパーム油生産の85%近くを占めるインドネシアやマレーシアでは、パーム油のためのアブラヤシの農園（プランテーション）開発による熱帯林伐採や、農園での人権問題などが問題視されています。こうした生産地での環境面や社会面の課題に対処する為、2004年にRSPOは認証制度を設立しました。

この認証制度は、独立した第三者の立場から、環境や社会に配慮して行なわれているパーム油の生産を認証するもので、現在国際的な基準としても広く知られています。

※ WWFジャパン、「RSPOについて」、
<https://www.wwf.or.jp/activities/2017/01/1353828.html>、2017/7/10 引用



2020/1/29

NEWS RELEASE

昭栄薬品 60周年記念 ボタニカル フレームド ソープ（トリポラス配合）企画開発のお知らせ

昭栄薬品株式会社（本社 大阪市中央区、代表取締役社長 藤原佐一郎）は、ソニー株式会社（本社 東京都港区）が生み出した新素材「Triporous」を配合し、環境に配慮したRSPO（Roundtable on Sustainable Palm Oil）認証された持続可能なパーム油に貢献する化粧石鹸を企画開発いたしました。

本製品の特徴は、環境に配慮した環境対応製品となっており、SDGsに対しても貢献できる持続可能なパーム油とまた世界で年間1億ト以上廃棄されている米の籾殻を活用したソニーの新素材（トリポラス）を配合しております。今後も、環境と安全に配慮した価値ある商品の提供、商品の開発に取り組んで参ります。
 ※なお、本製品は弊社創立60周年を記念するもので、非売品となっております。



■ RSPOとは / <https://rspo.org/>
 RSPO「持続可能なパーム油のための円卓会議」は、環境への影響に配慮した持続可能なパーム油を求める世界的な声の高まりに応え、2004年に設立されました。正式名称は「Roundtable on Sustainable Palm Oil」です。その目的は世界的に信頼される認証基準の策定とステークホルダー（関係者）の参加を通じ、持続的なパーム油の生産と利用を促進することにあります。

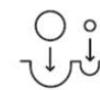
■ Triporous（トリポラス）とは / <https://sony.co.jp/triporous>
 ソニー株式会社が生み出した新素材 Triporous は、籾殻から生まれた天然由来の多孔質カーボン素材。特許を取得した独特の微細構造により、水や空気の浄化など幅広い応用が期待されています。また、余剰な資源を再生活用することで、循環型社会、地域環境負荷の低減にも貢献しながら、世界に次のブレイクスルーを生み出していきます。



天然由来



素早い消臭



ニオイや細菌を吸着

〔商品企画（環境原料）、記事内容等に関するお問い合わせ〕
 昭栄薬品株式会社 総務部
 電話番号：06-6262-2707
 受付時間：9：00～17：00（土、日、祝日、当社休日を除く）

今後の成長イメージ





IV. 株主還元方針

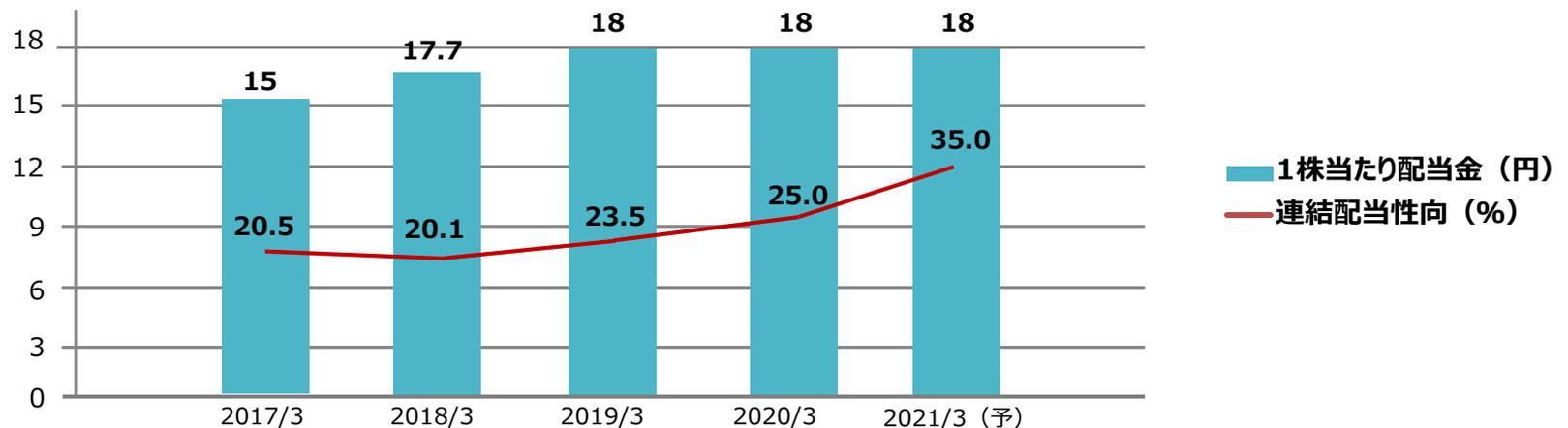
IV.株主還元方針

【配当方針】

- 将来の事業展開のために必要な内部留保を確保しつつ、安定配当を継続実施
- 過年度の1株当たり配当額を基礎に、**20%以上の配当性向を目標**とする

【配当金】

1株当たり年間配当金推移



* 2018年12月に普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。

【自己株式取得の状況】

取得期間	取得方法	取得した株式の種類	取得した株式の総数	取得価格の総額
2019年11月11日～2020年2月27日	東京証券取引所における市場買付	当社普通株式	100,000株	113,860,400円

免責事項及び将来見通しに関する注意事項

- この資料は、昭栄薬品株式会社（以下、「当社」といいます。）をご理解いただくことを目的として作成されたもので、当社株式への投資勧誘を目的としておりません。
- この資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。この資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- この資料中の業績予想ならびに将来予測は、この資料の作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は、この資料中に言及または記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性があります。
- これらのリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 本資料で使用するデータ及び表現の欠落・誤謬等に関しましてもその責を負いかねますのでご了承ください。また、本資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、事前予告なく変更することもありますので、ご了承ください。



昭栄薬品株式会社

【お問合せ先】

昭栄薬品株式会社 総務部 IR担当

電話：06-6262-2707

電子メールでのお問合せは、当社ホームページの「お問い合わせフォーム」をご利用ください。

URL：<http://www.shoei-yakuhin.co.jp/>



(ご参考資料)
V.会社の概要

社名	昭栄薬品株式会社
代表者	代表取締役社長 藤原 佐一郎
本社	大阪府大阪市中央区安土町1丁目5番1号
国内事業所	<ul style="list-style-type: none"> ● 東京支店（中央区東日本橋） ● 名古屋営業所（名古屋市中村区名駅）
海外現地法人	<ul style="list-style-type: none"> ● 中国：昭栄祥（上海）貿易有限公司 ● タイ：SHOEI TRADING (THAILAND) CO., LTD.
資本金	248,169千円（2020年3月末現在）
従業員数	74人[連結/常用者数]（2020年3月末現在）
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 化学品事業 オレオケミカル並びに界面活性剤等の仕入販売 ● 日用品事業 家庭用洗浄剤を中心とした日用品の企画及び仕入販売 ● 土木建設資材事業 地盤改良薬剤やコンクリートの補修補強材料等の仕入販売
上場市場	東京証券取引所JASDAQスタンダード

グループ会社



①【中国】
昭栄祥(上海)貿易有限公司

②【タイ】
SHOEI TRADING



1900年

2000年

37 化学品卸を創業

51 現 花王(株)の化学品販売開始

60 昭栄薬品株式会社に改組

93 シンガポール支店開設

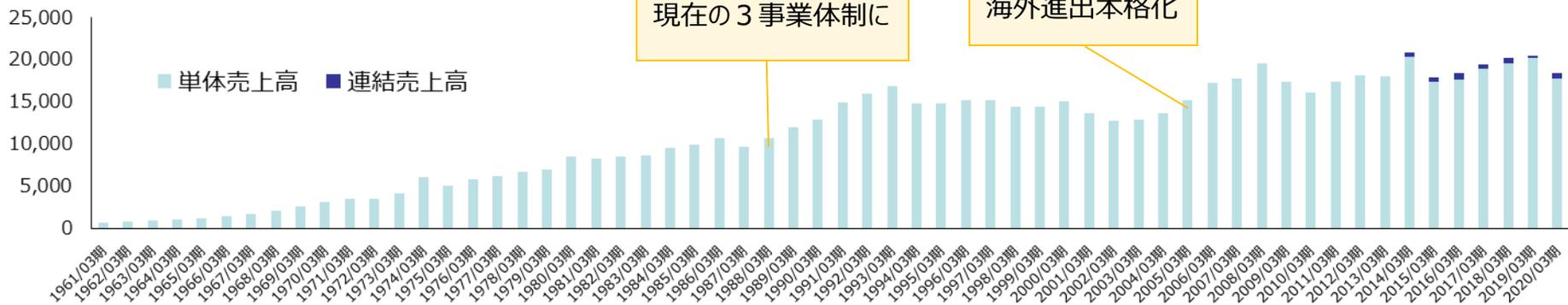
05 中国に子会社設立

09 タイに合併会社を設立

12 タイ合併会社を完全子会社化

13 シンガポール支店閉鎖

16 東証 J A S D A Q 上場



経営理念

私たちは**環境と安全に配慮**した価値ある商品の提供と、新しい市場の開発を通じて、真の顧客満足を実現し、企業の発展と社会への貢献を果たします。

私たちは事業の目的を達成する為、**業務の有効性及び効率性を高める**為の取り組みと、**正しい財務報告**と資産管理、社会正義に則った**法令遵守**を継続していきます。

行動指針

仕入先には
信頼感

得意先には
満足感

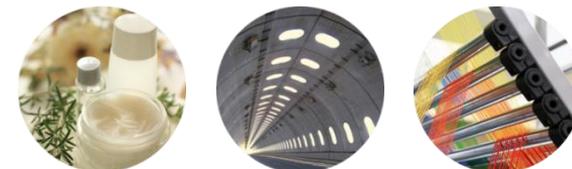
自分自身は
責任感

●主に 植物系の天然油脂を原材料とするオレオケミカル、オレオケミカルを原材料とする界面活性剤を取り扱い、販売先は広範な業種に亘る

*原油・鉱物・天然物等を活用した高機能化学品も販売



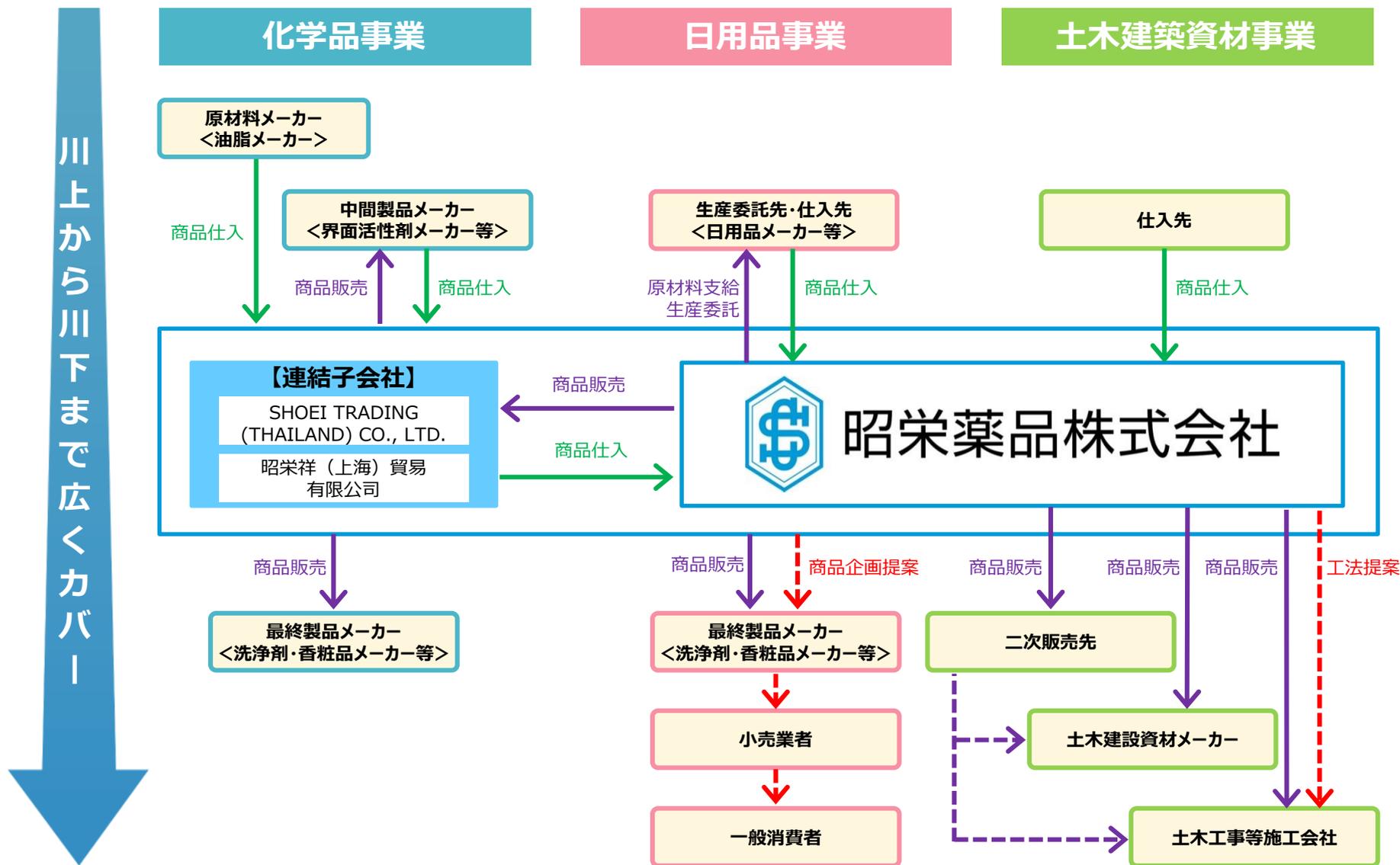
当社取扱商品の需要業種



代表的な需要業種

- トイレタリー (石鹸、洗剤、シャンプー・リンス)
- 化粧品
- 食品
- 医薬品
- 繊維
- 合成樹脂
- 土木建築
- 紙・パルプ
- 染料・顔料・塗料
- ゴム
- 潤滑油
- 燃料・エネルギー
- 鉄鋼・金属

販売先 700社超



オレオケミカルを中心とした化学品商社で、
高度な専門性、圧倒的な情報力を活用し、
顧客へ高付加価値のソリューションを提供

花王(株)ケミカル事業

の主要代理店

[仕入比率 4 割超]

※仕入先は400社超



日本、タイ、中国の、グループ3社で情報を共有し、得意先の生産活動を原材料選定から支援。多岐にわたる品目を取り扱います。

- * 化学品事業で国内外**700社**を超える得意先
- * 海外ネットワークの調達機能で、得意先のグローバル調達の支援を拡大



日本、タイ、中国のネットワークで国内化学品はもちろん海外化学品のグローバル調達で、お客様のタイムリーな原材料調達に貢献します。